



放水体験



1

台湾ゴルフ協会が市を訪問

台湾ゴルフ協会の王政松会長が協会メンバーの皆さんとともに、東京オリンピック事前キャンプ候補地選定の視察とゴルフを通じた交流を進めるため、市を訪れました。

王会長は「芝はかなり綺麗に管理されていてグリーンも素晴らしい。」とコメントされました。台湾ゴルフチームの事前キャンプを豊かな自然と充実した環境で迎えられるよう、PRをしていきます。

4/9

2

宍戸小学校で地域防災機関との交流会

宍戸小学校で小学生・保護者・消防署・消防団の交流会が行われました。子どもたちは、はしご車搭乗、ポンプ車放水、ジェットシューターなどを体験して、消防の仕事を学びました。

消防団の深澤副団長は「体験で身をもって知ることで、消防の活動や防災に対して関心を高めてもらえれば。」と話していました。

交流会は今年で5年目。学校で地元消防団員と消防職員が、児童と一緒に消防資機材を使用したゲームを行い、消防に対する理解や親近感を深めるイベントを行ってきたことが評価され、竿頭受章や、日本PTA全国協議会会長表彰を受けるなど、全国的にも先進的な取り組みとして評価されています。

4/21

3

地藏尊と伝え碑建立

天正18年(西暦1590年)に福田地区にある愛宕山で起きた金沢の合戦。その様子や負傷者に対する里人の思いやりを後世へ伝えていくため、福田地区の有志により地藏堂(血道堂)が再建されました。

発起人の一人、田中登さんは「地藏堂には、後世へ当時の様子を伝えられればとの思いから、地藏尊を建立しその歴史を碑文に彫り込みました。」と思いを語ってくれました。

4/22



地藏尊



宍戸ヒルズカントリークラブで挨拶する、王会長



記帳所



参加者の方々



「農事組合法人おぼらの里」
構成員と関係者

4
農事組合法人おぼらの里設立

友部地域集落営農組合の法人化に伴い、「農事組合法人おぼらの里」設立総会が開催されました。今後は構成員10名で、小原地区の優良な農地約50ヘクタールを経営し、飼料用米や麦、大豆などの作物を生産していきます。
代表理事の萩野谷建夫（たけお）さんは、「法人化によって若い農業者を育成し、関係機関の支援や指導を受けながら地域農業の安定化に努めていきたい」と話しました。

5
親子料理教室

フジフーズ(株)水戸工場で、親子料理教室が行われました。
作ったのは、子供の日特別メニュー「鯉のぼりちらし寿司とガトーショコラ」。出来上がった料理を前に笑顔がいつぱいの料理教室となりました。
フジフーズ(株)水戸工場は、笠間市のがんばる企業応援連絡会に属し、市の発展に「尽力いただいています」。

6
令和はじまりの日

天皇陛下の御即位に伴い、市役所本所では記帳所の設置と、婚姻届の受け付けを行いました。
この日、婚姻届を提出されたのは23組。記念すべき日に、結婚という人生の節目を迎えた方々へロビーに飾られた笠間市在住の書道家米川香庵（よしかわ）さんの「令和」の書とともに記念撮影を行い、写真をプレゼントしました。
また、市民の皆さんの祝意のこもった記帳は、宮内庁へ奉呈させていただきました。

7
盛況のうちに閉幕
陶炎祭&つつじまつり

多くのお客さまにお越しいただいた「第38回笠間の陶炎祭」と「第48回笠間つつじまつり」が盛況のうちに無事閉幕しました。
陶炎祭には約501,000人、つつじまつりには約36,000人の方々においでいただきました。ご来場いただいた皆さんをはじめ、市民の皆さんやそれぞれの関係者の方々へお礼申し上げます。
また来年、たくさんの方に笠間市へおいでいただけるよう、PRを行っていきたく思います。

8
メディカルカフェはじまりました

地域医療センターかさまで、医師や理学療法士、保健師など専門職と、気軽にお茶を飲みながら相談ができる「メディカルカフェ〜みんなの相談室〜」が始まりました。第一回のテーマは「腰痛」。簡単な体操も交えながら、参加者の皆さんは和気あいあいと午後のひとときを過ごしました。
今後いろいろなメニューをご用意していますので、お気軽に地域包括支援センター(02996-781587)までお問い合わせください。

9
美しい自然を後世に

愛宕山で、自然に親しみ、環境保全の大切さを伝える取り組みとして、「カスミ共感創造の森」植樹祭が行われました。
参加したのは、ボランティアをはじめボーイスカウトやガールスカウト、(株)カスミの職員、市の新規採用職員など615人で、15種類約2,500本を植樹しました。
今回で「カスミ共感創造の森」づくりは、9回目を迎えました。豊かで美しい自然をみんなで見守っていきましょう。



9回目を迎えた植樹祭



会話を楽しむ参加者



陶炎祭会場